

特 72

46

諏訪和一郎著

警察指針
完

301588-001-0

特72-46

警察指針

諏訪 和一郎 / 著

M18.4

BAF-0001



緒言

一方今人文大ニ開ケ隨テ著書雜出スト雖凡而モ未ダ
警察ノ大意ヲ節畧セシモノアルヲ聽カズ或ハ儘之
レアルモ高尙ニ過キテ容易ニ其津涯ヲ知ルニ由ナ
ク終ニ隔靴ノ嘆ナキ能ハズ余レ茲ニ慨スル處アリ
不文不學ヲ顧ミズ警察ノ大意ヲ節略筆記シ以テ同
志ノ者ニ頒ント欲ス若シ夫レ其行文ノ如キハ首尾
錯雜名狀スベカラズ覽ルモノ唯意ヲ言外ニ求メ以
テ少ク警察ノ大意ヲ解得セバ幸甚書メ以テ博雅ノ
是正ヲ俟ツ

明治十八年二月

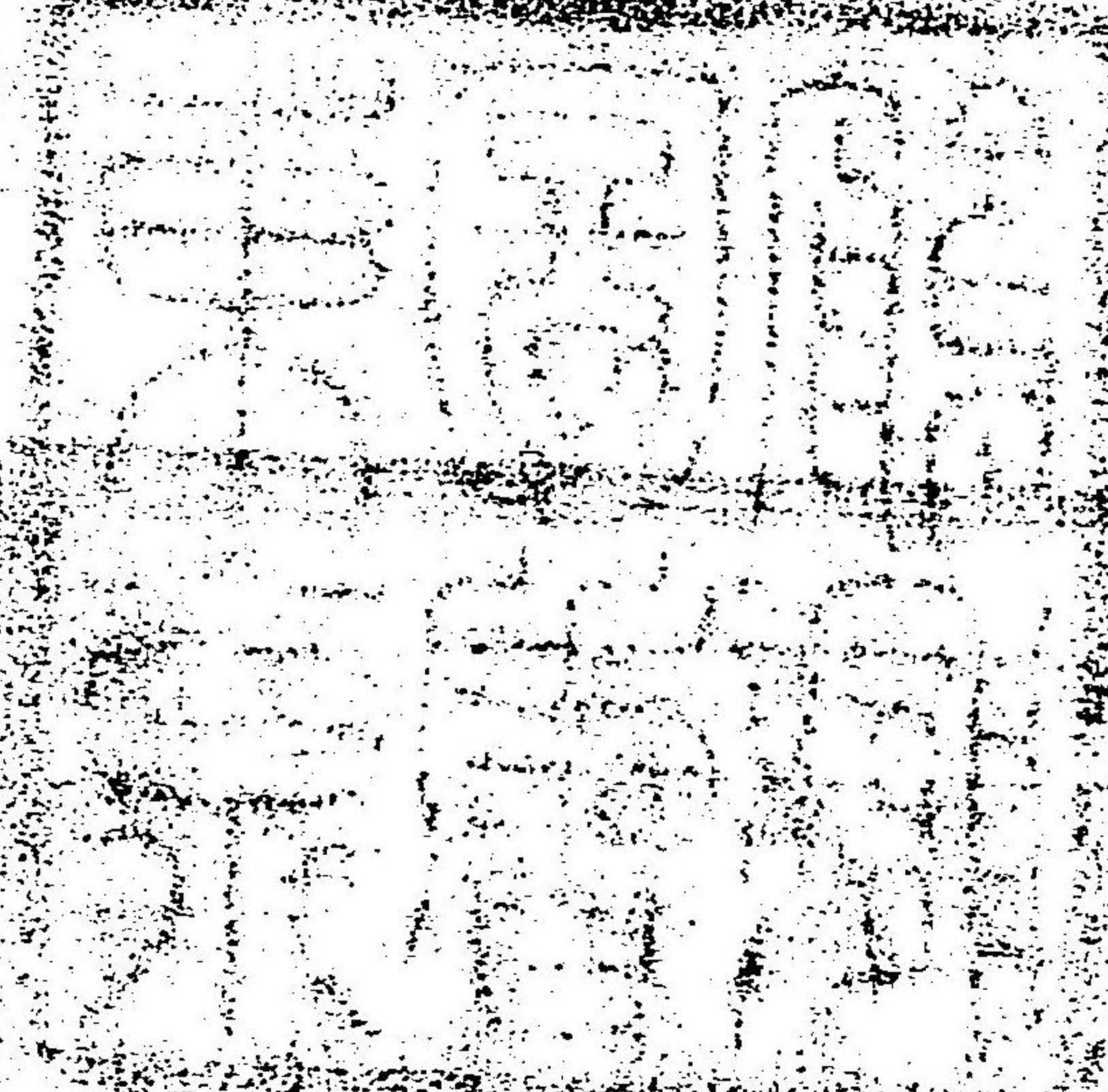
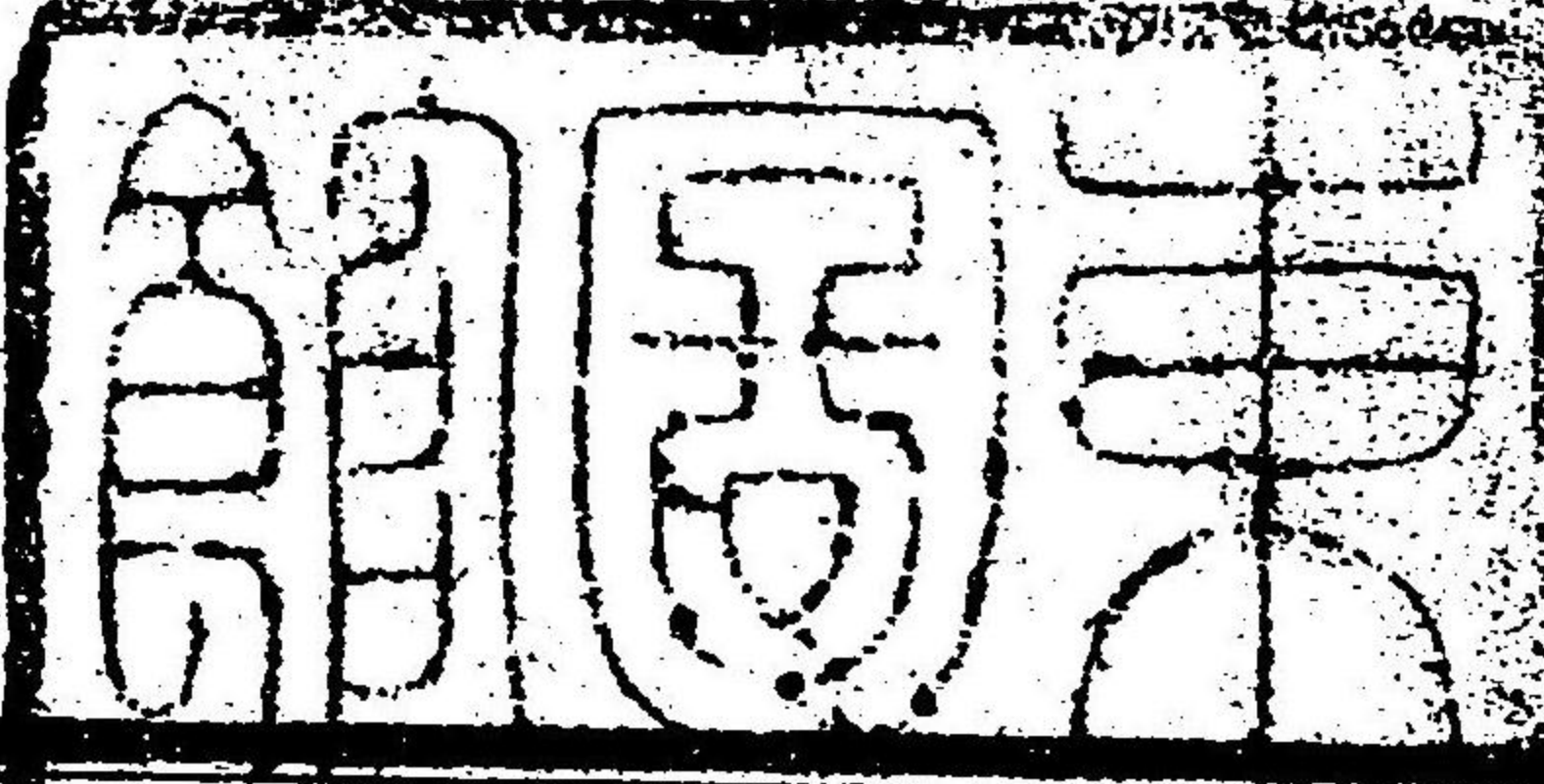
編者謹識

警察指針

目錄

- 一 緒論
 - 一 警察ノ起因
 - 一 警察ノ目的
 - 一 警察ノ類別
 - 一 行政警察
 - 一 司法警察
 - 一 警察官
 - 一 結論
- 通計總八章

物 46



警察指針

第一 緒論

諏訪和一郎著

警察ハ國家ノ機關ニシテ國家ハ猶氣船ノ如シ東ニ航セシ
 東ニ機關ヲ動カシ西ニ行ント欲セバ西ニ機關
 北ニ探ラバ如何其必ズ目的ヲ達スル能ハサル
 殊ニ目的ヲ達スル能ハザルニシテナラズ其必ズ
 毀壞スルニ至ラソ然レバ警察ノ國家ニ於ケルヤ猶氣船
 大機關ニ於ケルガ如シ國家方向ヲ擅制ニ探レバ其警察
 ハ乃チ擅制ニ行カザルヲ得ズ國家若シ指針ヲ立憲若ク
 ハ共和ニ探ルキハ乃チ警察モ亦自由ニ運動セザルヲ得
 事ルナリ之ヲ要スルニ國政ニ適應セザル所ノ警察ハ之

ナ解故セザルヲ得ザルナリ然レハ古來今往國政ニ枝梧
ナル警察ハ蓋シ焉レナキノ道理ナルベシ然レモ吾人史
ヲ翻テ擅制政治ノ下ニ組織セラル、所ノ警察ヲ諦觀シ
去ルモハ警察權ノ伸縮及ビ法律規則執行ノ手續等ニ至
リ爲政治家ノ存意ニ反對セルヲ往々ニシテ之レアリ其極
逐ニ悲愁慘憺ノ境遇ニ陥ルヲアリ此場合ニ於テハ警察
ハ社會ノ安寧ヲ維持セント云ハソヨリ寧ロ百萬ノ虎狼
ヲ民間ニ驅ルモノト謂フベシ豈寒心セザルベケンヤ故
ニ擅制ニ指針ヲ採ル政府ノ警察ニ在リテハ到底社會ノ
安寧ヲ充分ニ維持スル能ハズト雖モ若シ夫レ指針ヲ立
憲若クハ共和ニ取ル所ノ警察ニ在リテハ毫モ其政令ノ
命スル所ニ背戻スベカラザルヤ明ナリ矣

回顧スレハ明治十四年十月十三日畏クモ我が敵聖ナ
ル文武皇帝陛下ニハ來ル明治二十三年ヲ期サセ玉ヘ國
會ヲ開設シテ以テ完全無缺ナル立憲政体ヲ組織セント
シ、敕詔ヲ降シ玉ヘヌ由此觀之今日我政府ノ針路ヲ採
ル所ハ則チ自由ノ制度ニ外ナラザルベシ然レハ我國今
日ノ警察ハ須ラク善美ノ域ニ進歩セザルベカラザルヤ
斷乎トシテ其レ明ナリ矣請フ吾人之レヨリ歩ヲ進ミテ
警察ノ旨趣ヲ約說シ以テ同胞諸君ト將來善良ナル警察
ノ下ニ保護セラレ、トテ計畫スルモ敢テ無用ノ事ニ非
ルヲ信ズルナリ

第二 警察ノ起因

人類相集ルヤ次第ニ部落ヲ爲シ相與ニ利害休戚ヲ同フ

以契約束縛之。雖動搖。人欲之私。制
之。離散。セントスル。之レアリ。終ニ安穩ヲ保ツ能ハ
ズ。茲ニ於テカ有力者ナルモノ出テ之ヲ統治シ以テ其約
束ニ服從セシム。是レ則チ政府ノ由テ起ル。処ニシテ古ノ
野蠻人類ニ在リテハ。概シテ有力者ニ管轄ヲ享シルニ非
ズ。其生命財產ヲ安シズルヲ能ハザリ。且ツヤ
有力者ナルモノ次第ニ其近隣ヲ并合セテ邦土ヲ招キ其
管轄スル。処ノ部落益々々擴マリ文物制度ヲ備具スルニ
從ヒ之ヲ國トハ名シルナリ。又其君主ヲ國王ト稱スル
ナリ。是レ即チ國家ヲ組織スル概略ナリ。此故ニ多數人類
一團結即チ國家ヲ統治スルニ一ノ
政府ナルモノ勿ルベカラズ。設ク政府ナルモノ莫クシテ

ノカ人々舉テ已レノ爲ニト欲スル。處ヲ爲シ秩序紊乱兆
民其堵。安メスルノ秋。トカラシボシ。一氏曰ク人皆已
レノ欲スル。處ヲナスヲ得ベキ。邦國ニ於テハ一人トシテ
欲スル。處ヲ爲スヲ得ズ。君主ナキ國ハ人皆君主ナリ。人皆
君主ナル。件ハ皆奴隸ヲラザルハ莫シト以テ政府ノ必要
ヲ証スベキナリ。既ニ政府ナルモノアリテ此人民ヲ統治
スル以上ハ又政府ノ命令ヲ執行スル具勿ルベカラズ。是
則チ警察ノ由リテ起ル所謂ナリ。
諸時代ノ變遷ニ因リテ政府ノ組織ニ沿革アリト雖。日
進ノ今日ニ在リテ政府ヲ組織スル。處ヲ觀ルニ則チ立法
行政司法ノ三大部ニ過キス。而シテ之ヲ要スルニ政府ノ職
務トスル。處ハ乃チ社會ノ秩序ヲ整理シ一般ノ安寧ヲ保

維シ農工商ノ事業ヲ獎勵勸誘シ又ハ學校ヲ設立シテ智
 識ヲ増進セシメ人民ノ權利義務ヲ鞏固ニシ以テ天賦ノ
 自由ヲ得セシムルニ在ルナリ而シテ以上政府ノ命令ヲ執
 行スル皆警察ノ力ニ由ラザルハ莫シ然レバ此警察ニシ
 一日モ國家ヲ離ル、キハ國家ハ成立スル能ハザルナリ
 請フ次章ニ於テ警察ノ目的如何ニ論及セシト欲ス

第三 警察ノ目的

警察ハ行政權ノ一大部分ニシテ社會ノ凶害ヲ除キ禍亂ヲ
 未發ニ防キ以テ國家ヲ安全ニ維持スルヲ具ナリ故ニ警
 察ノ要旨ハ人民ノ安寧幸福ヲ増進スルニ在リテ唯法律
 規則ヲ執行ヲ監督スルノミニ止マラザルナリ之ヲ警
 ルハ陸海軍ハ外部ヲ保護スルノ甲兵ニシテ警察ハ内部ヲ

保護スルノ藥餌ナリ今夫レ兩陳相結テ解ケズ或ハ彈丸
 黒子ノ中ニ奔走シ或ハ縹緲鐵艦激浪ヲ冒シテ前ニ唯雄
 大瞬時ノ中ニ決スルハ實ニ陸海軍ノ力ニ由ルト云フト
 雖モ然モ不逞ノ徒ヲ隱密ノ中ニ探索逮捕シ以テ人民
 權利和平ヲ保持シ而シテ各自其堵ニ安ンセシムルヲ得
 ル一トシテ警察ノ力ニ由ルニアラザルハ莫シ然レバ陸
 海軍ハ平時ニ際シテハ用ナキモノ、如シト雖モ警察ハ
 一日モ勿ルベカラザルモノナリ
 世態ノ變遷及ビ人文ノ開否如何ニ由リテ警察モ亦沿革
 アリト雖モ我國今日ノ狀態ニ就テ觀察ヲ下スルハ蓋シ
 自由ニ運動セザルベカラズ(緒論ヲ參看スベシ)然リ而シ
 今日警察ノ大主眼トスル處ハ乃チ社會ヲ改良シ國權ヲ

擴張シ以テ此氓ノ身体財産ヲ獨立セシムルニ在リ乃チ其方法ヲ畧言セバ則チ曰ク官民ノ暢和ヲ計リ又ハ法律規則ヲ一般ニ告知セシメ以テ法網ニ罹ラシメズ曰ク水火震災ノアルハ預メ測リテ之ヲ人民ニ漏レナク知ラシメ或ハ救助ニ尽力ス曰ク社會ニ害ヲ爲ス者ハ警邏査察以テ之ヲ誅鋤シテ人民ノ權利ヲ完カラシム曰ク放蕩淫佚ノ者ヲ制止ス曰ク各自業務ノ勉勵ヲ誘導ス曰ク健康ヲ保全スル等總テ社會ノ安寧ヲ保全シ福利ヲ増進スルヲ以テ警察ノ本務ト爲スナリ然ルガ故ニ警察ノ關係スベキ事態ノ形狀ハ千差萬類ナルヲ以テ此權ノ活動ヤ亦宜ク千差萬類ナルベシ而シテ抑モ此權ナルモノハ國家ノ中心ヨリ興起シ其周邊ニ向テ發動スルモノナレバ國

政ノ如何ニ由リテ或ハ社會ノ安寧ヲ傷クルコトアリ豈深ク察セサルベクシヤ

第四 警察ノ類別

抑モ警察ノ權タルヤ至大至廣ニシテ常ニ千差萬類ノ事務ニ干渉セルヲ以テ國政ノ良否及ビ之ヲ用フルノ如何ニ由リテ利害得失ヲ與フルモノナレバ宜ク其權限ヲ區畫シ其事務ヲ分轄擔任セシメザルベカラズ是レ即チ行政司法ノ二類別ヲ要スルユエナリ而シテ約シ警察ノ種類一徹ナラズト雖モ之ヲ區別スレバ曰ク保安警察曰ク増安警察何チカ保安警察ト云フヤ曰ク禍乱ヲ未萌ニ預防シ社會一般ヲ安寧ヲ保持スルヲ以テ目的トナスモノニシテ則チ現在ノ兇惡ヲ誅鋤スルモノナリ何チカ増安

警察ト云フヤ曰ク社會一般ノ福利ヲ増進スルヲ以テ目的トナスモノニシテ譬ヘバ不學ノ子弟ヲ學ニ就カシメ或ハ健康ヲ保全スル等ノ事ヲ勸誘スルモノニシテ則チ將來ノ安寧幸福ヲ進歩スルニ在リ而シテ又警察ノ事務ヲ類別スルニハ即チ高等警察下等警察ノ二種アリ、高等警察トハ國家全体ニ關スル安寧ヲ保持スルモノニシテ譬ヘバ國事犯人等ヲ隱密ノ中ニ探偵、捕獲スルヲ以テ目的トナスモノニシテ或ハ之ヲ國事警察ト云フ下等警察トハ國家ノ一區域ニ關スル安寧ヲ保持スルモノニシテ譬ヘバ盜賊ヲ捕獲シ又ハ爭鬪ヲ制止スル等ヲ以テ目的トスルモノニシテ自餘萬般ノ事務ニ執掌スルモノナリ由テ或ハ之ヲ一般警察ト云フ必竟スルニ國家ノ全体ニ關

スルト否トニ因リテ此區別アルナリ然リ而シテ其他警察ヲ類別スルニハ出版警察、集會警察、衛生警察、獸獵警察、森林警察、田野警察等千種万類アリト雖モ以上之ヲ總括シテ大別スルニハ行政警察、司法警察ノ二者ニ過キズ請フ之レヨリ此二者ノ組織及ビ權限ニ論及セント欲ス

第五 行政警察

抑モ警察ノ事務ニ千差萬別アリト雖モ之ヲ一大括別スルニハ即チ行政、司法ノ二途ニ過ギザルコトハ業ニ既ニ畧陳シタルガ如シ請フ吾人は是レヨリ一步ヲ進メテ行政警察ノ何物タルヲ解説セシムルニ凡ソ警察ノ國家ニ功益ヲ與フルハ蓋シ司法ニアラズ行政ノ一途ニ存ス矣何者國家ノ希望スル處ハ平安ト福利トノ二者ニ過ギザレハナ

リ而テ行政ノ事之ヲ約言スレバ即チ社會ノ過害ヲ未發ニ防テ以テ各自ノ安全ヲ維持シ又ハ將來ノ安寧幸福ヲ増進スルニ在リ焉然ルガ故ニ我政府ニ於テハ既ニ明治八年太政官第廿八号ヲ以テ行政警察假規則ナル者ヲ頒布セラレタリ即チ其第一條ニ曰ク

行政警察ノ趣意タル人民ノ凶害ヲ預防シ安寧ヲ保全スルニ在リ

其三條ニ曰ク

其職務ヲ大別シテ四件トス

第一人民ノ妨害ヲ防護スル事

第二健康ヲ看護スル事

第三放蕩淫逸ヲ制止スル事

第四國法ヲ犯サントスル者ヲ隱密ノ中ニ探索警防スル事

由此觀之行政警察ノ國家ニ於ケル一日モ忽ニセザルベカラザルヲ証スベキナリ

故ニ行政警察ノ關係スベキ部分ハ至大至廣ニシテ其畔涯ヲ知ルニ苦ムト雖モ其概畧ヲ擧グレハ靜安ニ關スル事頂、公衆游樂ノ地及ビ工業商業ノ安全、公ケノ健康及ビ衛生、其他教育ニ關スル事項等ニシテ行政警察ノ要旨ハ社會ノ罪人トナルベキ者ヲ未萌ニ預防シ以テ國家ノ安全ヲ維持スルモノナレバ之ヲ斷ジテ則チ刑ナキニ期スルモノナリ

一靜安ニ關スル事項トハ假如ハ

兵器火藥其他引火シ易キ物件

火技

火藥運搬

政事宗教及ビ文學上ニ關スルノ集會

隱密集會

公ケノ集會

徒黨囂集

書籍及ビ新聞雜誌類

乞丐

浪遊者

等ノ如シ

一 公集遊樂ノ地ニ警察スル事項トハ假如ハ

料理店
 旅舍
 貸座敷
 舞戲場
 劇場
 病院
 幼童保護
 醉人
 等ノ如シ

一 工業商業ニ關スル事項トハ假如ハ
 鑛山、採石場
 蒸氣機關

工場

度量衡

賣品重量ノ詐偽

穀物ノ販賣

金銀物件

烟草、酒

等ノ如シ

一公ノ健康及ヒ衛生ニ關スル事項トハ假令ハ

醫師

穩婆

分娩

藥舖

鑛水

墓地

棄兒

狂人

傳染病及預防法

菓子屋

健康ニ害アル家屋

等ノ如シ

一教育ニ關スル事項トハ縱令ハ

學校、教會、及子弟品行ノ監査

等ノ如シ

以上ハ即チ行政警察ノ關係スベキ部分ノ大略ナリ而シ

警察ハ素ト施政ノ機關ナルヲ以テ國家全体ノ命令ヲ執
 行スル處ナレバ亦權限ノ確然タルアリ即チ内務ノ事ニ
 關シハ内務省ノ管轄ニ屬シ外務ノ事ニ關シハ外務省ノ
 管轄ニ屬シ其他工商業及教育ノ事ニ關シハ亦皆各々其
 主務ノ省ノ管轄ニ屬スルナリ
 今ヤ我國モ日々進テ開明ニ趣キ大ニ警察ノ面目ヲ一新
 シタリ而シテ吾人熟ラ維新以後ノ政策ヲ觀察スルニ事舉
 ナ其當カ得ル能ハズト雖也而モ警察ノ沿革ニ臻リテハ
 日ニ月ニ善良ノ域ニ進化シ轉テ吾人チノ政府ガ警察ノ
 擴張ニ熱心ナルヲ感ゼシムル一ニシテ足ラザルナリ
 然ラバ吾人人民ハ他日善良ナル警察ノ下ニ統治セラレ
 ヲモ豈遠キニアランヤ

第六 司法警察

行政警察ノ力及バズシテ己ムチ得ズ犯人ヲ逮捕シ或ハ
 之ヲ監禁スルハ司法警察ノ部分ニ屬ス而シテ司法警察ノ
 部分ハ行政警察ノ如ク至大至廣ニシテ其畔涯ヲ知ルニ
 苦ムガ如クナラズ乃チ行政警察假規則第四條ニ曰ク
 行政警察預防ノ力及バズシテ法律ニ背ク者アルハ
 其犯人ヲ探索スルハ司法警察ノ職務トス之チ行政
 警察ノ官ニ於テ行フハ檢事章程并司法警察規則
 ニ照スベシ
 ト以テ司法警察ノ趣旨ヲ規定セラレタリ譬へバ茲ニ賭
 場ヲ開設セシトスルヲ探知シ其接近ニ造リ能ク警防
 シテ以テ賭場ヲ開設セシメザルニ注意スルハ則チ行

政警察ノ主ル處ナレト其既ニ賭場ヲ開設セシ以上ハ乃
チ直チニ之ヲ逮捕セザルベカラズ是レ即チ司法警察ナ
リ
然レバ司法警察ナル者ハ實ニ已チ得ズテ之ヲ用フル
者ナレバ行政警察ノ力ノ及ハシ限リハ決シテ之ヲ用フ
ベカラズ而シテ司法警察ハ元來司法部ノ管統ニ屬スト雖
モ又檢察事務ト同視スベカラズ唯司法警察ノ目的トス
ル處ハ犯罪人ヲ逮捕シテ之ヲ檢事ニ送附スル迄ニ留マ
ルナリ而シテ司法警察ノ關係スル處ハ縱令ハ家宅搜索、証
據蒐集及保存、犯人逮捕等ナリ
之ヲ要スルニ司法警察ナルモノハ實ニ己ムチ得ザルニ
用フル者ナレバ吾人が希望スル處ハ司法警察ノ擴張ニ

第七 警察官

在シヨリハ寧ロ行政警察ノ擴張ニ存ス矣
既ニ前段ニ畧論シタルガ如ク警察ノ事務タルヤ千差萬
類矣而シテ其權ノ波及スル處ハ至大至廣矣國家ノ消長ハ
常ニ之ニ侶ハザルハ莫シ然ルガ故ニ此警察ノ運轉手即
チ警察官タル者ハ學識兼備ノ士ニ非ルヨリハ能ハザル
ナリ品行整肅ニ非ルヨリハ能ハザルナリ豪毅深沈ニ非
ルヨリハ能ハザルナリ公正無私ニ非レバ能ハザルナリ
若シ夫レ學識兼備ニ非レバ以テ是非ヲ判ツ能ハズ品行
整肅ニ非レバ以テ人民ヲ誘導スル能ハズ豪毅深沈ニ非
レバ以テ艱難ニ耐ヘ事ニ臨テ處スル能ハズ公正無私ニ
非レバ以テ紛糾ヲ解クニ足ラズ抑モ人ヲ督スノ官ニ在

ルモノハ須ク先ヅ其身ヲ督ヅ以テ之ニ及ボスベシ
 警察官タルモノ、務モ亦難矣哉
 往古羅馬ニ於テ警察ノ体面大ニ觀ルベキモノアリシハ
 職トシテ諄良ナル警察官ノアリシニ由ルニアラズヤ而
 警察官タルモノハ一ニ社會公衆ノ信憑ヲ得ルニ非ル
 ヲリハ其職ヲ全フスルヲ能ハザルベシ
 次ニ警察官ニ必要ナルハ徳義ノ良心ヲ養成スルニ在リ
 若シ警察官ニシテ徳義ナシトセシカ人誰レカ仰テ以テ
 摸範トナスベケシヤ羅馬ノ治モ當時警察官ニ徳義ノ良
 心ヲ養成セシニ由ルナリ然レバ凡ソ一國ノ官吏中最モ
 必須ニシテ最モ至難ナルモノハ即チ警察官ニアラズシ
 テ誰ゾ世ノ路ニ當ルモノ眞ノ人才ヲ求メテ此官ニ補セ

第八 結論

警察ハ國家ノ機關ナリ警察ニシテ萎靡不振トセシカ國
 家開明ニ趣クベカラズ政略ニシテ壓制ナルカ警察ハ虎
 狼ニ均キナリ嗚呼警察ノ良否ハ以テ人文ノ如何ヲ判定
 スベク警察ノ振否ハ以テ國家ヲ消長セシムベキナリ而
 シ警察ノ常ニ停滯シテ進マザルト自由ニ運動スルトハ
 (緒論ヲ參看スベシ)一ニ警察官ノ良否ニ由ルモノナレハ
 警察官ニシテ諄良ナラザルカ警察ハ到底振興スベカラ
 ズ
 今ヤ我國ノ政界ハ主義ヲ改進ニ取り隨テ警察モ亦大ニ
 制ヲ更メ觀ルベキモノ鮮シトナサズ然レモ未ダ以テ歐

州諸國ト對峙スベカラズ吾人ノ憂慮スル處ハ實ニ此ニ在リ抑モ警察ノ憂フル處ハ彼ノ干涉ニ在ルナリ夫レ行政ヲ專ニセンカ勢、干涉ニ陷ラザルヲ得ズ干涉ヲ防ンカ勢、行政ヲ除放ニセザルヲ得ス且ツヤ行政警察ナルモノハ的面ニ其功ヲ觀ルナク或ハ數年ノ後ニ之ヲ觀ルヨアリ或ハ冥々ラ中ニ奏スルヨアリ然ルヲ世人ガ動モスレハ警察ノ功ヲ説クヤ其犯罪人ヲ逮捕シタル時ニ於テス豈亦淺慮ト云ハサルヤケシヤ

今夫レ晝夜間斷ナク街衢ヲ巡回スル巡査ヲ看ヨ倫兒ヲ捕フル爲メナルカ將タ放火犯ヲ獲ル爲メナルカ否決ソ然ラズ乃チ是等犯罪人ヲ未萌ニ預防シ以テ害毒ヲ社會

ニ流サント欲スル者ヲ探索警防スルニアラズヤ此故ニ司法ヲ擴張センガ爲ニ將ニ罪ヲ犯ントスルモノヲ警防セズヤ其罪ヲ犯セシ後ニ之ヲ捕獲スルガ如キハ實ニ警察ノ趣旨ニ背戻スル者ト云ハザルベカラズ吾人ハ信ズ我警察官諸君ハ飽クマテ行政ヲ專務トナシ以テ社會ノ安寧幸福ヲ保全セラル、ヨチ然リト雖モ行政ノ至難ナル既ニ略論シタルガ如シ唯夫レ汝々汲々以テ其違ハザルニ庶幾ランカ

次ニ巡査ナルモノハ實ニ警察ノ楨幹トモ云フベキモノニシテ此長否ハ亦實ニ警察ノ振否ニ關ス此故ニ警察官就中巡査ナルモノハ諄良ノ人ヲ撰任セザルベカラズ然リト雖モ巡査ノ職務タル至重至難ニシテ其祿ハ實ニ薄少

ナレバ有爲ノ徒ハ之ヲ屑トセザルナリ然ラバ將ク何ニ
 由テ之ヲ勸ムルカ曰ク唯夫レ宜ク達官ノ道ヲ開キ雄偉
 ノ士夫此官ニ蒐メ以テ憂憤ヲ抱カシメズ其職ニ卧レテ
 已ツコトヲ誘導セザルベカラズ
 然リト雖モ雋材達士ハ平生ノ処業往々規矩準繩ノ外ニ
 出ルコトアリト雖モ而モ統御其宜キヲ得ルコト於テハ事業
 ソ進歩括目セテ埃ツベシ之ニ反シテ無學不識ノ者ハ每
 ニ諄々トシテ克ク法度ヲ守ルト雖モ而モ變ニ際シ機ニ
 臨シテ施爲スル能ハズ故ニ苟モ人ヲ統御スルノ官ニ在
 ルモノ宜ク此二者ヲ審クシ以テ之ヲ業務ニ施スベシ
 抑モ雋材達士ハ往々事ヲ疎放ニシ平生ノ処行反ツテ無
 學不識ノ者ノ諄々トシテ克ク法度ヲ守ルニ若カザルコト

アリ是レ實ニ古今ノ通患ナリト雖モ之ヲ要スルニ蓋シ
 統御者其人ヲ得ザルニ坐スルノミ
 往古羅馬ニモ云ヘル官アリカ此官ハ警察ノ
 一官ニシテ甚ダ高カラズト雖モ當時尊貴ノ人ハ力ヲテ
 此官ニ補セラレシトテ渴望セリ何者ニシテナル官ハ
 高官ニ入ル門戸ノ如キ習慣ニシテ將ク人民モ亦能ク信用
 セシヲ以テ尊貴ノ人ハ榮譽ヲ博セシガ爲ニ此職ニ勉勵
 セルナリ嗚呼亦一ノ善美ナル習慣ト云フベシ
 今夫レニシテナル官ト巡查ナル官トハ固ヨリ大小輕
 重ノ異ナルアリト雖モ我國ニ於テハ世人動モスレハ巡
 査ヲ蔑視シ且ツ此職ニ補セラレ、トテ厭ヌハ實ニ習慣
 ノ效スルニ由ルト雖モ復達官ノ道容易ナラザルニ由ル

ニアラズヤ吾人ハ茲ニ政府ニ向テ希望スル処ハ宜ク達
 官ノ道ヲ開キ以テ他日有爲ノ人ヲ養成シテ其志ヲ
 示シ在リ果シ然ラバ雄偉ノ士自然此官ヲ欲スルニ至ル
 ベキカ乃チ警察モ善美ノ域ニ達スベキヤ疑ヲ容レズ
 茲ニ方今我國ノ巡查タルモノガ常ニ兵器ヲ携帯スルハ
 果シ警察ノ趣旨ニ適スルヤ否請フ試ニ之ヲ論ゼン
 抑モ巡查ナルモノハ眞平ノ行政官ナルヲ以テ毫モ人民
 ヲ畏懼ノ念慮ヲ抱カシムベカラズ加之人民ニ景慕セテ
 其ノ力ヲ務メザルベカラズ夫レ兵ハ兇器ナリ行政官ニ
 其具トナスモ人民ニ於テ遂ニ陽ニ景慕ノ情ヲ表ハシ陰
 ニ必ズ畏懼ノ念ヲ蓄フルニ至ル是レ自然ノ勢ナリ斯ク

ノ如クシテ何ゾ其警察タルニ在リヤ
 然レトモ人或ハ云フ若シ巡查ニシテ既ニ兵器ヲ携帯スルナ
 シ忽然兇暴者ニ邂逅シ不幸ニシテ之レガ爲ニ非命ニ死シ
 遂クアラバ如何、曰ク之レ寧ロ其職分ナシ職ヲ奉ジテ
 其職ニ斃ル寧ク憂フルニ足ン且ツヤ兵器ヲ携帯スルハ
 司法官ニ爲スル処行政ヲ專ニスル官ニ於テ爲スベカラザ
 ルヤ明シ矣
 今ヤ宇内ニ雄飛スル彼ノ英國ヲ看ヨ其巡查ハ兵器ヲ携
 帶スルナク單ニ一ノ短棒ヲ携帯セルノミ而シテ其棒ニ女
 皇陛下ノ眞像ヲ鏤ハシ常ニ之ヲ袖中ニ納メ一朝事アリ
 テ其説論ニ服セザルハ直ニ其棒ヲ提出シ以テ混乱ヲ
 解治ス猶服セザルハ則チ女皇陛下ノ命令ニ背反スル

モ、即チ不敬罪ニ該當セラレ重罪ニ処セラレ故ニ
英國ノ如キ故ラ、兵器ヲ携帯セズテ既ニ治安矣兵器
ヲ携帯スルニ均シ而シ其功益ハ兵器ヲ携帯スルニ勝ル
万々ナリ噫行政官タルモノ將ニ此クノ如クナルベシ
然ラバ方今我國巡查ニ兵器ヲ携帯セシムルハ實ニ施政
上己ムヲ得ザルニ在ルノニ漸次開明ニ趣クニ隨ヒ必ズ
他日之ヲ除放スルナラン
以上之ヲ総説スルハ警察官ハ諄良ノ人ヲ撰任セザル
ベカラズ行政ハ飽クマテ專一ニセザルベカラズ而シテ司
法ハ己ムヲ得ルニ用フベカラズ而シテ警察ノ運動ヲ自由
ニ活用スルニ在リ爲政家ノ存意ヲ充分ニ貫徹スルニ在
リ果シ然ラバ彼ノ歐チ駕シ米チ凌クモ亦遠キニアラザ

ルナリ

警察指針尾

明治十八年三月御届
明治十八年四月出版

著者兼出版人

發兌書肆

同

同

同

茨城縣平民

諏訪和一郎

東京深川區松村町五
番地忍田清寶方寄留

小林八郎

東京日本橋區通旅籠
町十一番地

巖々堂

東京神田區淡路町一
丁目

出雲寺萬次郎

東京日本橋區橫山町
二丁目一番地

高木直二郎

下総境町

定價金拾錢

